

第 1 回 西臼杵広域行政事務組合病院事業運営評価委員会評価・提言内容

令和 7 年 1 0 月 8 日

西臼杵広域行政事務組合病院事業運営評価委員会

委員の皆様から出されました評価・提言の概要は、以下のとおりです。

【評 価】

救急ワークステーションの本格運用や介護分野においての新たな取組など、まさに西臼杵医療にとって課題であった「入口である救急」と「出口である介護」の体制強化が図られていた。

また、人材確保においても応援医師や研修医が増員されており、医学生や看護学生の実習受入についても新たな取り組みがなされていた。

西臼杵の地域医療を推進していくためにどれも大切な取り組みだと思う。

経営面については、令和 6 年度は 3 病院とも赤字決算であったとの報告だった。

令和 6 年度は自治体病院の 86%が赤字だったとの報道でもあったとおり、物価高騰や人件費の増など病院経営は大変だと思うが、引き続き経営の健全化に取り組んでいただき、地域の方々が安心して暮らしていけるような医療体制作りにご尽力いただくようお願いする。

【提 言】

- 新たな取組は効果を検証するために実績を比較して評価してほしい。
- 2040 年を見据えた医療体制を整えるにあたっては、医療 D X の推進が大きなテーマとなる。